

第六章 掃海艦艇

第一節 掃海專(主)用驅逐艦

三十七、八年戰役ニ於テハ掃海其ノモノノ訓練スラ重視セラレズ僅ニ艦載船艇ヲ以テセル特別掃海索(中掃海具ノ前身)通常掃海索(小掃海索ノ前身)ヲ用ヒシニ過ギズ然ルニ同戰役中ハ廣汎ナル海域ニ互ル不斷不撓ノ掃海實施ヲ餘儀ナクセラレ當初ハ主トシテ大小各種假裝砲艦ヲ用ヒ臨時特設裝置ニヨリ實施セラレシガ間々驅逐艦水雷艇之ニ參加シ特ニ同戰役第二期ニ於テ特別掃海索(掃海索長最大四百米)ヲ用ヒ二、三方面ニ實施ヲ見タリ

三十七、八年戰役ノ掃海船艇計畫上ノ教訓トシテ一般ニ是認セラレルモノ左ノ如シ

- 一、一般ニ使用シ得ベキ艦艇ハ六尺以下ノ淺吃水船タラザルベカラズ然ラザレバ水雷ノ觸撃ヲ免ガレザルベキモノトス
 - 二、右ノ理由アルヲ以テ驅逐艦水雷艇ヲ掃海ニ使用スルハ唯特種ノ場合即チ艦隊ガ是非共其ノ海面ニ進入ヲ要スルカ或ハ其ノ海面ヲ陸軍用地又ハ運送船ノ集合地ニ充テントスルガ如キ重要ナル問題ヲ決スルガ爲ニ驅逐艦水雷艇ヲ犠牲ニ供シ急行掃海法ヲ以テ迅速ニ水雷ノ有無ヲ搜索スル場合ニ限ルモノトス
 - 三、現ニ水雷敷設シアルヲ探知スルトキハ有効確實ナル掃海法ニ依ラザルベカラズ此ノ場合ニ於テハ決シテ驅逐艦水雷艇ハ掃海ニ使用スベカラズ
 - 四、第一項ノ如キ六呎以下ノ艦船ヲ得ズ止ムナク六呎以上ノ喫水船艇ヲ用フル時ハ之ヲ掩護スル爲其ノ先驅トシテ小蒸汽艇ノ小掃海隊ヲ先行セシムルヲ要ス
 - 五、理想的掃海艇トシテ前諸項ヲ具體化セバ左ノ如シ
 - (一)同轉徑チ小ナラシムルコト
 - (二)水雷一群連以上ノ搭載裝置ヲ有スルコト(敷設艇兼用)
 - (三)上甲板兩舷側ノ通路ニ米以上ノコト
 - (四)吃水五尺以内ノコト
 - (五)速力十二節以上ノコト
 - (六)馬力大ナルコト
 - (七)十二斤速射砲二門以上ノコト
 - (八)落射機取附裝置
 - (九)機雷落下裝置
 - (十)曳船裝置
 - (十一)傳馬船一隻乃至二隻
 - (十二)索具ノ推進器纏攔防止裝置等具備スルコト
- 次デ戰後掃海兵器ニ就キ幾多ノ實驗研究行ハレ漸次本兵器ノ制定統一ヲ見ルニ至リシモ艤裝方面ニ於テハ未ダ確タル制式ヲ得ズ而カモ軍備充實ニ關スル四圍ノ狀況ハ遽カニ掃海専用艦艇ノ建造困難ナルヲ示セシヲ以テ大正二年五月海軍々令部長ハ窮餘ノ一策トシテ海軍大臣ニ商議スルニ掃海艇トシテ除籍驅逐艦ヲ使用致度件ヲ以テセリ左ノ如シ

大正二年五月十三日

海軍軍令部長 男爵 伊集院 五郎

海軍大臣男爵齋藤實殿

掃海艇トシテ除藉驅逐艦ヲ使用致度件

歐米諸海軍ハ明治三十七、八年戰役ニ於ケル機械水雷ノ偉大ナル効果ニ鑑ミ爾來之ガ研究ニ多大ノ努力ヲ爲シツツアルノ現狀ナリ從ツテ今後ノ海戰ニ際シ航路ノ安全ヲ確保スル爲迅速確實ナル掃海作業ノ必要ヲ感ズルコト最切ナルモノアルヲ見ル然ルニ專ラ此ノ重要ナル作業ヲ擔當シ當時之ガ進歩發達ニ任ズベキ防備隊ハ目下ニ使用スベキ恰好ノ船舟ヲ缺クノ狀態ナルヲ以テ此ノ際機宜ノ處置トシテ先ニ達第六十五號ヲ以テ帝國驅逐艦藉ヨリ除カレタル文月以下六隻ヲ雜役船舟トシテ左記ノ如ク防備隊ニ配屬シ當分掃海艇トシテ有効ニ使用セシメラルル様致度

右商議ス

記

横須賀防備隊	卷雲、數波
佐世保防備隊	漣、霞
舞鶴防備隊	文月、皐月

右ニ對シ海軍大臣ハ財政整理ノ都合上全部ハ困難ナランモ當分保存可致旨回答セシガ之等廢驅逐艦ハ日獨戰役ノ開始後第二艦隊所屬甲掃海隊トシテ艤裝セラレ戰地ニ活動シ戰後引續キ常時掃海作業ニ對スル教育訓練ヲ施行セシメ戰時直ニ實用ニ供シ得ル様取計ヒ軍港ニ分屬セリ

然ルニ之等諸艦艇モ間モナク廢止ノ止ムナキニ至リシカバ大正四年五月當時佐世保所管第八驅逐隊(叢雲、夕霧、陽炎、不知火)ヲ佐世保防備隊ニ附屬セシメ掃海専門訓練驅逐艦ニ指定シ不取敢掃海艇トシテ左記假裝備ヲ施セリ

一、揚貨機械一室宛裝設

前部發射管ヲ陸揚シ其ノ位置ニ廢船漕丸、文月丸、卷雲丸、霞丸ヨリ取外セル揚縮機械ヲ一時使用シ揚貨機械トシテ假設ス

二、「ボートラード、ヘッド」假設

前記新設揚貨機ノ前方右舷又ハ左舷ニ廢船敷波、卷雲ヨリ取外セル「ボートラード、ヘッド」一個宛ヲ假設ス

三、「ローラー」ノ新設

同揚貨機後方兩舷ニ「ローラー」一個宛新設

四、足場新設

艦尾ニ張出テ作り舵柄上ニ掃海作業ニ必要ナル格子板ノ足場ヲ設ケ後端ニ掃海索用ノ網擦レテ設置ス

當時世界大戰ノ經過竝ニ掃海船艇整備ノ實狀ニ鑑ミ當局ニ於テハ一層此種船艇充實ノ急ニ焦慮シ同年參謀長會議ノ際關係諸問題ニ就キ諮問シ研究ノ步武ヲ進ムルトコロアリ左記ハ同諮問事項竝ニ答申要領及軍令部所見摘要ナリ

今後ノ戰爭ニ於テ甲種機雷ノ使用範圍愈々擴大スルニ從ヒ攻勢作戰上ニモ將亦自國港灣防禦上ニモ掃海作業ノ益々重要ナルニ至ルハ明カナリ而シテ本作業ノ迅速且完全ナル遂行ヲ期センニハ平素ノ訓練、要具ノ改良等ト相待ツテ掃海船ノ船種選擇ニ付大ニ攻究ヲ要スルモノト認ム就テハ左記諸件ニ對シ詳細ナル意見承知シタシ

(4) 出征艦隊ニ附屬スベキ理想的掃海船ヲ新ニ建造ストセバ其ノ艦型艦裝等ノ標準如何

(註)觸雷ノ災害無カラシムル爲吃水ヲ淺クスレバ牽引力減ジ且風壓ノ影響大ニシテ掃海作業ハ大ニ困難ニ陥ルベク操縦ヲ容易ナラシムル爲排水量ヲ減ズレバ外海ヲ航行シ艦隊ニ隨伴スルコト能ハザル虞アリ之等ハ掃海船ノ船體決定上大ニ考慮ヲ要スル所ナリ

答申要領竝ニ軍令部所見

- (ウ) 前項ノ掃海船ニ除籍驅逐艦ヲ使用スルモノトセバ船體兵裝裝等ニ如何ナル改造新設ヲ要スルヤ
- (ハ) 狹隘ナル港内水路又ハ水雷ノ多數敷設サレアル局所海面ヲ掃海スルニ適スル輕快ナル小掃海船ヲ出征艦隊用掃海隊ニ附屬スルコトヲ必要トセバ之ニ適當ナル船型(掃海隊母艦ニ搭載シ得ルヲ限度トス)及其ノ隻數等如何
- (ニ) 港灣防禦トシテ防衛隊ニ附屬スベキ掃海船ハ如何ナル船種ヲ以テ適當トシ之ニ特設スベキ裝裝等ノ如何
- 本掃海船ハ到底之ヲ新造スルコト能ハザルヲ以テ雜役船又ハ徵備船舶ヲ以テ之ニ充ツル必要アリ
- (イ) 參集諸官ノ意見ハ略合致セリ即チ (一)排水噸數四百噸内外ナルコト (二)吃水六乃至八呎速力十二節附近ナルコト (三)船幅ハ相應ニ之ヲ廣クシ後部上甲板ハ特ニ「クリーア」タラシムルコト (四)「スクルー、ガード」ヲ附シ前部乾舷ヲ高クシ凌波性ヲ増加スルコト (五)後部ニ掃海索揚收用ノ汽力「ウインチ」ヲ設クルコト (六)大砲探照燈測距離ヲ取付クル等ニシテ之等ノ諸要求ヲ滿タス爲ニハ別ニ新掃海艇ヲ作ラズトモ三等驅逐艦ニ多少ノ裝裝換ヲ爲スカ若クハ大型敷設艇ヲ使用セバ大體可ナルガ如ク考ヘ居ル次第ナリ
- (ロ) 三等驅逐艦ヲ掃海艇トシテ使用スルニハ (一)後部發射管及大砲ヲ陸揚シ後甲板ヲ濶掃スルコト (二)後部發射管座ニ汽力揚貨機ヲ取附クルコト (三)後部舷側ニ推進翹尖端ヲ設クニ足ル丈ノ足場ヲ設クルコト (四)掃海要具格納所ヲ設置スル等ノ裝裝替ヲ要スルコト等ニシテ諸官提出ノ意見ハ略一致スルガ如シ尙本件ハ(イ)項ト共ニ目下佐世保第八驅逐隊ニ於テ實驗考究中ナルヲ以テ本年末(大正四年末)ニハ確然タル決論ヲ得ルベキ見込ナリ
- (ハ) 局所海面ヲ掃海スルニ適スル輕快ナル小掃海船ハ大型汽艇ヲ可トストノ意見アルモ大部分ハ發動機附和船ヲ可トスル意見ニシテ常部モ又之ニ賛成ス目下ノ考究程度ニ於テハ小掃海船トシテ發動機付和船六隻ト其ノ指導艇トシテ汽艇一隻ヲ掃海隊母艦ニ搭載スルヲ最モ可ナリト考ヘ居ルモ尙各部ニ於ケル攻究ヲ望ム
- (ニ) 港灣防禦用掃海船ニ關スル各官ノ意見ハ「トロール」徵備ヲ以テ上乘トスル處ト小型敷設艇及曳船ニテ足レリトスル所ト二様ニ分レ決論ヲ得難キモ今回戰役ノ實驗ニ鑑ミ港灣防禦用ノ掃海船トシテハ艦々「トロール」ヲ徵備シテ之ニ充ツルニ及バザル

ベク防備隊港務部等ニアル適當ノ艦艇ヲ用フルカ若クハ五十噸乃至百噸附近ヨリ徵備シテ之ニ充ツレバ先ヅ可ナル心算ナル
 モ尙各地ノ實狀ニ稽ヘ充分ノ研究ヲ望ム

大正九年十二月軍令部長ハ再ビ除籍驅逐艦水雷艇ノ利用ニ關シ海軍大臣ニ商議スルトコロアリ即チ特
 用ノモノノ外驅逐艦ハ掃海艇ニ艦裝センコトヲ以テセルニ對シ海軍大臣ハ來意ニ應ズベク旨ヲ以テ
 セリ

斯クテ左記順序ヲ以テ掃海主用驅逐隊（改裝掃海隊）ノ艦裝換ヲ見タリシガ之等個々各隊ノ呼稱編制
 （艦艇名、隻數）ハ幾變轉シ新陳代謝常ナキ狀況ナリキ

驅逐隊（艦）名	艦裝換年	爾後ノ隊（艦）呼稱變更及年
第十二驅逐隊（綾波、磯波、浦波） 水無月、菊月、長月	大正十二年	第六掃海隊
第二十九驅逐隊（子ノ日、若葉、朝風、春風、初雪） 朝風、春風、初雪	大正十三年	第十一驅逐隊 大正十三年十二月一日呼稱變更
第二十一驅逐隊（櫻、榊） 桐、榊	大正十五年	
第七驅逐隊（松、杉） 柏、榊	昭和三年	
第十七驅逐隊（山風、海風） 檜、榎	昭和四年	第六掃海隊（五年四月呼稱變更）

之等改装驅逐隊改装要領ノ一例トシテ第二十一驅逐隊(櫻級)四隻ヲ示セバ左ノ如シ

第二十一驅逐隊(櫻、樺)ヲ掃海驅逐隊ニ改装要領(大正十五年六月決裁)

一、機關

二〇節ノ速力ヲ出シ得ル程度トシ混燒罐二罐ヲ整備ス

二、兵裝

(一) 撤去スベキモノ

(イ) 後部聯裝發射管 一基(之ニ關聯スル兵裝機裝共)

(ロ) 後部八糶砲 一門(同右)

(ハ) 空氣壓搾唧筒 一基

(ニ) 新設スベキモノ

(イ) 大掃海具二號特 一組 (ロ) 爆雷投射機 二基

(ロ) 大掃海具三號 一組 (ハ) 爆雷水壓投下裝置 二組

(ハ) 水中聽音器 一組 (ニ) 掃海關係通信裝置 (イ) 爆雷落下軌道 二條

三、定員

兵裝ノ變更ニ伴フ所要ノ改正ヲ行フ

四、完成時期

大正十五年十二月迄

(備考) 當隊ハ大正十五年十二月一日ヨリ聯合艦隊ニ附屬シ掃海訓練ニ從事セリ